

こんにちは。中間市長の福田健次です。

福岡県は、1月14日から2月7日までの間、国の緊急事態宣言の対象区域になりましたが、その期間が3月7日まで延長されました。

対象区域となってから約3週間が経過し、感染拡大防止策への積極的な取組により県内の新規陽性者数は、短期間のうちに二桁となる日が続き、総数も減少傾向にあります。

しかし、一方で、医療提供体制については受け入れ病床数を増やし、宿泊療養施設を2箇所増設するなど強化しているものの、入院者数及び重症者数の増加により、病床稼働率は依然として高い水準となるなど予断を許さない状況が続いています。

また、中間市の感染者の状況も、12月に入ってから増えており、2月5日現在で53人となりました。12月は17人、1月は24人となり、この2か月で感染者全体の約77%を占めています。

感染者ご本人には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご回復をお祈りいたしております。

福岡県から皆様への要請等

1. 期間：令和3年2月8日（月曜日）0時から3月7日（日曜日）24時まで

2. 緊急事態措置の内容

（1）外出自粛の要請

生活や健康の維持に必要な場合 ※を除いた、不要急の外出・移動を自粛すること。

特に、20時以降の不要不急の外出自粛を徹底すること。

※ 生活や健康の維持に必要な場合の例

医療機関への通院、食料、医療品、生活必需品の買い出し、必要な職場への出勤、屋外での運動や散歩など

（2）「三つの密」を徹底的に避けるとともに、「身体的距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」等の基本的な感染防止対策を徹底すること。

（3）その際、国の専門家会議等で示された「人との接触を8割減らす、10のポイント」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00116.html

「新しい生活様式の実践例」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html

「感染リスクが高まる『5つの場面』」 <https://corona.go.jp/proposal/>を参考にすること。

ご自身と大切な人を守るため、医療関係者の皆様のためにも今が一番大切な時期です。市民の皆様には、感染予防対策の徹底に努めてくださいますよう強くお願いいたします。

令和3年2月5日

中間市長 福田 健次